

Press Release

2018 年 5 月 23 日
株式会社データ・アプリケーション

「ACMS シリーズ」、 JISA EDI タスクフォース参加 EDI パッケージ/サービスベンダー12 社による 全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）の相互接続性を実証 ～ 企業・銀行相互間での従来 EDI からインターネット EDI へのスムーズな移行を支援 ～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 好修、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、一般社団法人情報サービス産業協会（以下、JISA）・EDI タスクフォースにて作成された全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）※1 に準拠し、セキュリティ対策として SSL/TLS 暗号化方式を採用した利用ガイドラインに基づいて行われた相互接続試験に参加し、「ACMS シリーズ」が、参加 12 社による EDI パッケージ/サービス※2 との相互接続が行えることを確認しました。

NTT 東日本/西日本による固定電話の IP 網への移行や INS ネットデジタル通信モード提供終了により、既存の従来型 EDI が今までのように使えなくなります。そのため、多くの企業はインターネット EDI への移行を余儀なくされます。この状況を踏まえ、一般社団法人全国銀行協会（以下、全銀協）は、2017 年 5 月 16 日に、インターネットや IP-VPN などの広域 IP 網でも利用可能とした「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」を制定しました。

これを受け、DAL を含む JISA の EDI タスクフォースに参加する EDI パッケージ/サービスベンダー 12 社は、「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」をサポートし、インターネット EDI への移行が円滑に行えるよう相互接続試験を行いました。

この試験のポイントは、広域 IP 網上で、「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」による通信環境を構築し、SSL/TLS レイヤにおいてセキュリティ対策を施した状態で相互接続性を検証することでした。2017 年 11 月より 3 回に渡り行われた検証では、各社の EDI パッケージ/サービスにて、自社を除く全パッケージの組み合わせで、相互接続性を実証しました。

「ACMS シリーズ」の全 6 製品で「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」をサポート。全銀協標準通信プロトコルの仕様はそのままに、既存のアプリケーションを改修することなく、データ暗号化やサーバ/クライアント認証をサポートします。2024 年 1 月の INS ネットデジタル通信モード提供終了に向けて、スムーズかつセキュアにインターネット EDI への移行を実現し、相互接続性についても信頼性の高い製品となりました。また、「ACMS シリーズ」では、これ以外のインターネット EDI 用プロトコルにも対応しており、それぞれのプロトコルで、標準化団体や認定機関、ソフトウェアベンダ間の相互運用性試験を実施しており、安心して導入いただけます。

DAL は、今後も、国際標準・業界標準への取り組みを積極的に継続し、各業界の業務効率化とお客様に対するサービス品質向上に貢献する、信頼性と安全性の高いデータ連携基盤を提供していきます。

※1:全銀協標準通信プロトコル(TCP/IP 手順・広域 IP 網)については、以下全銀協 Web サイトでご確認ください。

「広域 IP 網をベースとした「全銀協標準通信プロトコル(TCP/IP 手順・広域 IP 網)」の制定について」

<https://www.zenginkyo.or.jp/news/detail/nid/8115/>

※2:相互接続試験に参加した企業と EDI パッケージ/サービスについては、以下 JISA Web サイト(EDI 関連資料「全銀協標準通信プロトコル(TCP/IP 手順・広域 IP 網)相互接続試験結果」)でご確認ください。

https://www.jisa.or.jp/it_info/engineering/tabid/2518/Default.aspx

■ 相互接続試験で使用した「ACMS シリーズ」

エンタープライズ・データ連携基盤 「ACMS Apex」	https://www.dal.co.jp/products/di/apex/outline.html
B2B インテグレーション・サーバ 「ACMS B2B」	https://www.dal.co.jp/products/edi/b2b/outline.html
EDI クライアントソフトウェア 「ACMS Lite Neo」	https://www.dal.co.jp/products/edi/liteneo/outline.html
全銀 TCP/IP 手順ファイル転送ツール 「ACMS/WS」	https://www.dal.co.jp/products/edi/ws/outline.html

以上

【株式会社データ・アプリケーション (DAL) について】

DAL は、1992 年に最初の UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にシステム連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェアを自社開発し、国産ソフトウェアベンダとして EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立。2007 年 4 月にジャスダックに上場しました(JASDAQ:3848)。

DAL の「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」は、国内 72 社のビジネス・パートナーを経由して販売され、すでに 2100 社 10000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ACMS シリーズは、エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」をはじめ、基幹システムと連携した B2B 環境を容易に構築できる B2B サーバ「ACMS B2B」、企業内外のデータ連携を行う B2B インテグレーション・サーバ「ACMS E²X」など、システム規模・接続ニーズに応じた製品ラインアップを揃えています。また、システム連携では不可欠なデータのフォーマットや文字コードの変換・加工を行うデータ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」を 2014 年 3 月から提供しています。

【HP】 <http://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel : 03-5640-1437	Tel : 03-5640-8544
Fax : 03-5640-8541	Fax : 03-5640-8541
E-Mail : pr@dal.co.jp	E-Mail : sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。